

森の健康診断と森林資源の活用

日時 2011年11月7日(月) 13:00～16:00

会場 静岡県教育会館 4階大会議室

静岡県は、県土の64%が森に覆われています。県中央部を貫流し下流域の暮らしや産業に多くの恩恵をもたらす大井川も、奥大井の広大な森林を水源としています。しかし近年、林業の低迷により間伐が進まず、森林の荒廃が目立ってきています。一方で、奥大井・南アルプス地域では、森林資源等地域資源を活用して自然・歴史・文化を学ぶエコツーリズム活動を行い、地域の活性化を図っています。この研修会では、現状の取組を活かしながら、恵みの源である森林の保全を、流域の住民や企業と山村が協働して取り組むための方策を考えます。



■ プログラム

開会

13:00 開催挨拶 静岡県くらし・環境部環境局 環境ふれあい課

講演

13:05 地域の多様な主体の連携による
生物多様性保全活動の進め方
里地ネットワーク 事務局長 竹田純一

基調講演

13:35 森の健康診断と木の駅プロジェクト
丹羽健司氏 (NPO法人賀露おやじの会 事務局長
矢作川水系森林ボランティア協議会 代表)

事例報告

14:20 奥大井・南アルプスエコツーリズム紹介
川根本町エコツーリズムネットワーク
南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会
地域資源を活かしたツーリズム推進会議

15:05 質疑

15:10 休憩

意見交換

15:20 意見交換 持続的な森林資源の活用に向けて

16:00 終了

◆ 講師略歴 ◆

丹羽健司氏

奈良県生まれ。1980年農林水産省入省。増大する放置林への対策として、簡単な方法でできる住民参加の森林調査「森の健康診断」の仕組みを構築するとともに、森林ボランティアの育成、山主との協働により間伐を推進する事業に取り組む。「足助きこり塾」「矢作川水系森林ボランティア協議会(矢森協)」「伊勢・三河湾流域ネットワーク」等の創設にかかわり、森の健康診断を全国的な運動に育てた。2010年より鳥取大学非常勤講師、鳥取県智頭町を中心に森の健康診断と木の駅プロジェクトによる森と村の再生事業に取り組んでいる。

■ 会場

静岡県教育会館 4階大会議室
静岡市葵区駿府町1-12
Tel:054-252-1011
JR静岡駅より徒歩5分

■ 参加方法等

参加費無料、先着申込制です。
定員100名程度。
・お名前(全員分)
・ご所属(企業・団体名等)
・連絡先(メールかFAX)
をメールまたはFAXでお知らせ下さい。

■ お問い合わせ・申込先

里なび事務局(里地ネットワーク)
メール h23@satonavi.go.jp
F A X 03-5477-2609
〒156-8502東京都世田谷区桜ヶ丘1-1-1
東京農業大学農山村支援センター内
電話 03-5477-2678

